

第 30 回

定期決算総会議案

平成 21 年度 事業報告書

平成 21 年度 収支計算書

賃貸対照表

財産目録

その他

日 時 平成 22 年 6 月 11 日 (金) PM 1 : 00 受付

場 所 なかの ZERO 小ホール
中野区中野 2-9-7 TEL 03-5340-5000

社団法人 東京都医薬品配置協会

第30回 決算総会式次第

司会 岡田(松) 副会長

午後3時40分

1. 開会の辞 岡田(松) 副会長

2. 会長挨拶 高山 会長

3. 来賓祝辞 祝電披露

4. 議長選任

5. 定数報告及び議事録署名人の指名

6. 議案審議

第一号議案 平成21年度事業報告承認の件 志摩 副会長

第二号議案 平成21年度決算報告承認の件 岡田(松) 会計

監査報告 久住 監事

第三号議案 定款変更の件 服部 副会長

第四号議案 役員改選 承認の件 新会長挨拶 新理事・監事紹介

7. 表彰状授与

(1) 永年勤続者表彰

• 配置員 5年、10年、40年

• 配置販売業者表彰 50年

• 優良配置販売業者表彰

(2) 受賞者代表謝辞

8. 閉会の辞 志摩 副会長

午後1時30分～3時20分

講習会

資質向上講習

「第一章 医薬品に共通する特性と基本的知識」

講師 薬都廣貫堂 株式会社 東京支社

管理薬剤師 岸 岡 勝 美 先生

午後5時30分

懇親会

大会スローガン

1. 薬事知識と資質の向上に努め、地域保健医療に貢献しよう。
2. 先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。

ごあいさつ

会長 高山 友三郎

改正薬事法施行に伴う新しい医薬品販売制度のスタートに呼応して、配置業界では「資質向上」が重要キーワードとなっている。従来通りの形であれば期限を定めず業を継続できる事となった。既存配置販売業者には、薬剤師や登録販売者など「専門家」の設置は免除されたものの、配置員の資質向上に向けた一定水準研修実施が課せられており、その適切な実施が必須課題となっている。

既存配置の営業許可や身分証の更新申請時に受講歴・実施計画の提出を求める府県もあるなど、厳格に運営する方向性が見えており、東京都医薬品配置協会も資質向上の重要性を再確認し、充実した研修・講習会に取り組んでいく所存であります。

人は歳をとると 今更学んでももう遅い と思ってしまうが、学ぶことに遅い、早いはない。遅咲きでも成功者になる為には学び続けることしかないのです。学びは本来の成功の為の投資でもあります。投資しておけば将来必ず成果となって返ってくるのです。学び続けている人はその事がわかっているから続けているのです。

全配協では改正薬事法施行に合わせ、消費者向けの新しい販売方法に関するチラシや「配置販売に関する改正薬事法 Q&A」を発行し、配置販売業者・従事者に対する改正薬事法の一層の周知を図っております。

東京都医薬品配置協会では厚労省から示された年間30時間の一定水準の研修・講習について、協会主催座学講習18時間・通信講座12時間の年間スケジュールを設けて、各関係機関との連携を図り配置従事者の一層の資質向上に努めてまいります。

配置販売業者が一致団結して配置業界の諸課題に対応し、都民から安心・信頼される配置薬業として次世代に引き継げるよう全力で取り組んで参りたいと考えております。

東京都医薬品配置協会でも改正薬事法施行にあたり、時代の変化に的確に対応できる強力な組織作りに努め、さらなる発展を図って参る所存であります。

どうか会員の皆様の一層のご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

平成 21 年度 事業報告書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(社)東京都医薬品配置協会

[概 況]

新しい責任の時代を説き、緊急の課題を乗り越える為に国民に協力を呼びかけアメリカで初の黒人大統領が誕生し、その就任演説は日本国内でも多くの人々が注目した。

日本の政治もこれまでは行政・教育・医療制度・公務員制度など「改革」に明け暮れてきた。ところが、現在少子化・低成長・格差拡大・財政赤字の膨張・グローバル化などが進行中です。これからの課題は部分的な手直し、つまり「改革」ではもうダメになってきた。時代は改革ではなく進化であり「変革」の時であります。そう信じた日本国民は、変革に一票を投じ歴史的な政権交代となりました。「交代」は政治に限った事ではありません。現在あらゆる組織で世代交代が進行中です。激動こそ「変革」「変革」が変化に即応できる時なのです。国の行方、経済社会の動向を常に把握し、学び続ける人と組織のみが生き残れる世の中になって来たのです。少子高齢化や高度情報化、経済の国際化が一段と進む中、新型インフルエンザが大流行するなど、国民の健康や安全への意識の向上から医薬品に対する期待はますます高まっています。そんな中医薬品業界では 46 年ぶりに医薬品販売制度を見直す改正薬事法が昨年 6 月 1 日付けで全面施行され業界悲願の事業所配置解禁が実現、新配置販売業における一般従事者は情報提供以外の業務に携わることができ専門家の同行も不要とされるなどの内容となりました。しかしインターネットなどによる「郵便等販売」論争をめぐっては継続使用者や離島在住者に対する 2 年間の限定的経過措置を設けています。

また、既存配置に課せられる資質向上の努力義務で厚労省は年 30 時間以上の一定水準研修実施を通達。東京都医薬品配置協会でも関係機関との連携を図り研修・講習会実施を一大事業として取り組んで参ります。

登録販売者試験制度の施行により、登録販売者になろうとする者に対しては生命関連商品である医薬品を扱う者にふさわしい倫理観あるべき姿勢を身に付け、医薬品の販売、適切な情報提供及び相談対応がなされ、都民の保健衛生向上が図れるよう努めてまいります。

また、法人販社サイドの協力態勢の構築にも努力、関連機関との連携を図り一層充実した研修体制を構築し、既存配置従事者の資質向上に努めて行きます。

会員の皆様におかれましても厳しい状況下ではありますが、都民の健康管理を担う者として社団法人東京都医薬品配置協会の一員として尚一層のご支援とご協力、ご指導をお願い申し上げます。

I 会議等

案第号一第

1. 決算総会：平成 21 年 6 月 16 日 なかの Z E R O 小ホール

- (1) 平成 20 年度 事業報告、決算報告を承認
- (2) 表彰状授与 優良配置員 2 名、永年勤続者 18 名

予算総会：平成 22 年 3 月 19 日 なかの Z E R O 小ホール

- (1) 平成 22 年度 事業計画、収支予算案を承認

役員会：4月 7日 ①役員変更について

- ②平成21年度講習会について

4月 21日 ①決算総会の件

- ②役員変更について

- ③一定水準資質向上講習会受講義務化について

- ④8月消費者講座について

5月 21日 ①薬務課よりの講習会提示時効について

- ②全配協 資質向上ガイドライン(案) の項目ごとの点検・確認

- ③講習会日程表について

- ④支部長辞任の件

6月 9日 ①決算総会の件

- ②機関紙「あゆみ」発行の件

8月 27日 ①医薬品販売制度改正について

- ②研修(資質向上講習会)運営委員会会則について

- ③通信教育について

- ④公益法人移行に関する件

- ⑤副会長選任の件

- ⑥理事費用弁償費の件

- ⑦10/7資質向上講習会の件

- ⑧一斉献血の件

1月 12日 ①平成22年度予算総会の件

- ②平成22年年一定水準資質向上講習会日程と通信教育について

- ③公益法人の件

- ④薬事功労推薦会議日程について

- ⑤機関紙「あゆみ59号」発行について

2月 16日 ①薬事功労推薦の件

- ②平成22年度役員改選について

- ③予算総会準備詳細について

- ④第4回(4/9)、第5回(6/11)資質向上講習会について

- ⑤平成22年通信教育日程について

- ⑥定款変更について

- ⑦支部活動費等について

2. 支部活動

各支部：4月中に支部総会及び講習会実施

多摩支部：8月19日 薬草勉強会、「ダメ。ゼッタイ。」募金活動

Ⅱ 事業内容

1. 会員教育事業

(1) 薬事講習会

●薬事講習会（支部会員対象）

4月 2日 東部支部「インフルエンザについて」

帝都医薬品配置協同組合 専任薬剤師 岩崎 啓江

4月 22日 多摩支部「最近の薬務行政について」 武蔵野保健所 担当者

4月 20日 西部支部「登録販売者試験問題集による講習」

東京配薬協同組合 管理薬剤師 小木 真如

●薬事講習会（全会員対象）

6月 16日 なかのZERO小ホール

「第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識」

薬都廣貫堂 (株)東京支店 管理薬剤師 岸岡 勝美

3月 19日 なかのZERO小ホール（日配商と共催）

「第4章 薬事関係法規・制度」 救心製薬(株) 薬事部 部長 清水 虎雄

●薬事講習会：東京都より委託（東京都登録全配置販売業者対象）

9月 9日 都民ホール

「最近に薬務行政」

東京都福祉保健局健康安全部薬務課薬事免許係 係長 戸栗 大仁

「薬事関係法規・制度」 救心製薬(株) 薬事部 部長 清水 虎雄

11月 12日 なかのZERO小ホール

模擬テスト・登録販売者試験作成の手引書の内容全般

薬都廣貫堂 (株)東京支店 管理薬剤師 岸岡 勝美

(2) 登録販売者試験対策講習会（全会員対象）

7月 24日 武蔵野スイングホール

「第2章 人体の働きと医薬品」 10問テスト・解説

「第3章 主な医薬品とその作用」 10問テスト・解説

(社)東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

10月 7日 武蔵野スイングホール

「第5章 医薬品の適正使用・安全対策」 10問テスト・解説

「第3章 主な医薬品とその作用」 10問テスト・解説

(社)東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

12月 1日 台東区民会館

「第2章 人体の働きと医薬品」 10問テスト・解説

「第3章 主な医薬品とその作用」 10問テスト・解説

(社)東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

1月 26日 台東区民会館

「第6章 理念・倫理・関連法規」 10問テスト・解説

救心製薬(株) 薬事部 部長 清水 虎雄

「第4章 薬事関係法規・制度」 10問テスト・解説

薬都廣貫堂 (株)東京支社 管理薬剤師 岸岡 勝美

2月 23日 台東区民会館

「第5章 医薬品の適正使用・安全対策」 10問テスト・解説 4回目

「第3章 主な医薬品とその作用」 10問テスト・解説

(社)東京都病院薬剤師会 理事 今泉 真知子

2. 都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1) 消費者講座：8月19日 薬物乱用防止と薬草勉強会

参加者数 67名 担当 多摩支部

園内にはキャラバンカーを呼び、東大和市駅前では多摩支部員により「ダメ。ゼッタイ。」の募金活動が行われた。また、東京都薬務課麻薬対策係の一ノ関謙主任のお話と東京都薬用植物園 北川重美園長によるお話の後、園長・職員による説明を聞きながら植物園内を見学。

(2) おきぐすり相談窓口

相談数7件のうち行政における消費者相談の窓口からは4件、消費者からは3件。

3. 薬務行政協力事業

(1) 麻薬・覚せい剤禍撲滅運動に対する協力

6月21日「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い（東京都主催）

新宿駅西口広場イベントコーナー

高山会長以下24名が参加し、募金の呼びかけ、紙風船の配布等参加協力した。

(2) 献血協力

① 平成21年10月18日：立川献血ルーム、献血ルーム吉祥寺タキオン、献血ルーム池袋い〜すと、有楽町献血ルーム、新宿東口献血ルーム

当会員関係より27名の協力を得て、当日の総採血数818名の実績を残した。

4. 配置薬業向上改善事業

(1) 機関紙「あゆみ」59号発行

(2) 関係団体会議出席

平成21年 4月1日	資質向上対策委員会会議	…於）東京
4月24日	配置部会・日配商資質向上対策委員会合同会議	…於）東京
5月20日	関東配置薬協議会通常総会	…於）山梨
5月22日	全配協改正薬事法に関する説明会	…於）東京
6月26日	日配商理事会・全配協配置部会・全配協理事会会議	…於）東京
7月21日	全配協通常評議委員会・初幹事会	…於）東京
7月22日	全配協通常代議委員会・日配商通常総代会・各初理事会	…於）東京
10月14日	関東配置薬協議会秋季会長会	…於）埼玉
12月2日	全配協配置部会・日配商合同会議	…於）東京

以上

平成21年度 正味財産増減計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日まで

(第30期)

(単位：円)

科 目		決 算	算 額	備 考
		当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
1 受 取 会 費		8,863,000	8,450,000	413,000
	1 受 取 会 費	8,863,000	8,450,000	413,000
2 受 諾 事 業 収 益		2,729,000	1,071,000	1,658,000
	1 全 配 協 補 助 金	1,298,000	0	1,298,000
	2 資 質 向 上 対 策 費 助 成 金	674,000	814,000	△ 140,000
	3 日 配 商 補 助 金	0	0	0
	4 日配商東京都支部補助金	50,000	50,000	0
	5 東 京 都 委 託 金	707,000	207,000	500,000
3 雑 収 益		443,582	1,235,705	△ 792,123
	1 受 取 利 息	4,701	9,555	△ 4,854
	2 受 講 料 収 入	288,000	1,075,380	△ 787,380
	3 雑 収 益	150,881	150,770	111
経 常 収 益 計		12,035,582	10,756,705	1,278,877
(2) 経常費用				
1 事業費				
1 指導教育に関する事業費		2,486,962	1,520,884	966,078
	1 講 習 会 費 (協 会)	1,680,015	298,904	1,381,111
	1 講 師 料	330,000	30,000	
	2 賃 借 料	330,740	98,670	
	3 旅 費 交 通 費	85,710	16,260	
	4 通 信 運 搬 費	287,032	67,722	
	5 印 刷 製 本 費	444,536	76,079	
	6 費 用 弁 償	178,590	6,000	
	7 記 録 費	4,516	2,673	
	8 雑 費	18,891	1,500	
	2 講習会・登録販売者講習会	0	882,555	△ 882,555
	1 講 師 料	0	270,000	
	2 賃 借 料	0	246,300	
	3 旅 費 交 通 費	0	58,670	
	4 通 信 運 搬 費	0	95,316	
	5 印 刷 製 本 費	0	137,832	
	6 費 用 弁 償	0	48,110	
	7 記 録 費	0	7,277	
	8 雑 費	0	19,050	

3 東京都委託講習会費		666,306	250,294	416,012	※献血促進活動費より¥314,699 充当 ※薬草勉強会費より ¥42,607充当
1	講師料	75,000	63,260		外部講師講演料 2回実施。併せて269名参加
2	賃借料	48,900	50,470		
3	旅費交通費	21,000	17,840		
4	通信運搬費	63,613	59,405		
5	印刷製本費	450,605	54,196		
6	費用弁償費	3,180	1,260		
7	記録費	4,008	3,266		
8	雑費	0	597		
4	表彰費	140,641	89,131	51,510	
1	記念品費	39,337	41,151		優良配置業者表彰
2	旅費交通費	1,260	970		永年勤続者表彰
3	通信運搬費	4,680	6,510		薬事功労賞関係表彰
4	印刷製本費	84,324	37,980		
5	費用弁償費	11,040	2,520		
6	分担金	0	0		表彰祝賀会
2 薬事知識普及啓発のための事業費		237,752	207,844	29,908	
1	都民への薬草勉強会費	171,888	142,120	29,768	※講習会費(委託)へ ¥42,607流用
1	広告宣伝費	16,289	20,454		薬草勉強会 都民参加 都立薬用植物園に於いて 都民に呼びかけて開催
2	旅費交通費	8,180	9,000		
3	通信運搬費	7,258	9,807		
4	印刷製本費	40,425	40,425		
5	費用弁償費	60,420	27,000		
6	記録費	8,665	4,890		
7	雑費	30,651	30,544		
2	都民、消費者への情報開示費	65,864	65,724	140	インターネットによる情報開示 諸費
1	インターネット、ソフト料	65,864	65,724		
2	通信運搬費	0	0		
3	記録費	0	0		
3 薬事衛生事業への協力費		424,319	707,635	△ 283,316	
1	献血、促進活動費	121,801	383,704	△ 261,903	※講習会費(委託)へ ¥314,699流用
1	旅費交通費	0	0		
2	通信運搬費	8,837	10,250		
3	寄贈費	0	213,100		
4	費用弁償費	107,320	155,000		
5	記録費	5,343	5,213		
6	雑費	301	141		
2	麻薬撲滅活動協力費	302,518	323,931	△ 21,413	※講習会費(協会)へ ¥150,015流用
1	旅費交通費	0	0		「6・26国際麻薬乱用撲滅」 都民の集いに協力 紙風船麻薬覚せい剤防止 センターへ寄附
2	通信運搬費	0	525		
3	寄贈費	201,399	201,126		
4	費用弁償費	94,260	117,000		
5	記録費	6,859	5,280		
4	相談事業費	0	0	0	

1	電 話 相 談 費	0	0	0	
	1 諸 謝 金	0	0		
	2 旅 費 交 通 費	0	0		
5	支 部 活 動 事 業 費	400,000	350,000	50,000	
	1 支 部 活 動 事 業 費	400,000	350,000	50,000	実費精算方式
	1 東 部 支 部	100,000	100,000		3支部の残金合計¥74,286は雑費益へ
	2 西 部 支 部	150,000	100,000		
	3 多 摩 支 部	150,000	150,000		
6	情報収集及び刊行物発行費	83,000	180,423	△ 97,423	
	1 機 関 紙 発 行 費	83,000	180,423	△ 97,423	
	1 費 用 弁 償 費	20,000	30,000		編集発行
	2 旅 費 交 通 費	0	0		
	3 通 信 運 搬 費	0	0		
	4 印 刷 製 本 費	63,000	150,423		
7	上 部 団 体 会 議 費	124,950	138,480	△ 13,530	内外関係団体へ出席
	1 全 配 協 会 議 費	24,370	32,000	△ 7,630	
	1 会 議 費	10,000	7,000		会議費、交通費 他
	2 広 告 宣 伝 費	0	0		
	3 旅 費 交 通 費	0	0		
	4 費 用 弁 償 費	14,370	25,000		
	2 関 配 協 会 議 費	100,580	106,480	△ 5,900	
	1 会 議 費	49,000	60,000		会議費、交通費
	2 広 告 宣 伝 費	500	0		
	3 旅 費 交 通 費	16,080	19,480		
	4 費 用 弁 償 費	35,000	27,000		
事 業 費 計		3,756,983	3,105,266	651,717	
2	管理費				
	1 費 用 弁 償 費	399,730	392,300	7,430	役員等 ※賃借料へ ¥21,720流用 ※手数料へ ¥61,664流用 ※雑費へ ¥6,886流用
	2 給 料 手 当	2,962,634	2,917,343	45,291	職員給料(含む残業手当) ※全配協負担金より 121,000充当 ※関配協負担金より ¥9,700充当 ※新聞図書費より ¥33,300充当 ※旅費交通費より ¥17,080充当 ※通信運搬費より ¥49,136充当 ※什器備品費より ¥20,000充当 ※消耗品費より ¥7,100充当 ※修繕費より ¥10,000充当 ※印刷製本費より ¥95,318充当
	3 厚 生 費	477,767	488,800	△ 11,033	職員 中退金掛金・社会保険料他 (法定) ※印刷製品費より ¥17,767充当
	4 全 配 協 負 担 金	229,000	323,000	△ 94,000	※給料手当へ ¥121,000流用
	5 関 配 協 負 担 金	200,300	200,300	0	※給料手当へ ¥9,700流用
	6 新 聞 図 書 費	66,700	73,400	△ 6,700	※給料手当へ ¥33,300流用
	7 旅 費 交 通 費	182,920	185,010	△ 2,090	職員定期代含む ※給料手当へ ¥17,080流用
	8 通 信 運 搬 費	150,864	198,837	△ 47,973	※給料手当へ ¥49,136流用
	9 什 器 備 品 費	0	97,615	△ 97,615	※給料手当へ ¥20,000流用
	10 消 耗 品 費	2,900	985	1,915	※給料手当へ ¥7,100流用

11 修繕費	10,000	0	10,000	※給料手当へ¥10,000流用
12 印刷製本費	134,430	259,415	△ 124,985	総会資料等 ※給料手当へ¥95,318流用 ※厚生費へ¥17,767流用 ※雑費へ¥2,485流用
13 水道光熱費	133,269	139,502	△ 6,233	※雑費へ¥16,731流用
14 賃借料	1,521,720	1,419,720	102,000	事務所・会議室 ※費用弁償費より¥21,720充当
15 手数料	411,664	287,386	124,278	山田税務会計顧問料¥100,000 清水行政書士定款作成料¥210,000 会費徴収代行料 ※費用弁償費より¥61,664充当
16 損害保険料	2,888	2,829	59	※雑費へ¥863流用
17 租税公課	70,000	70,000	0	都民税
18 雑費	126,965	227,849	△ 100,884	慶弔費他 ※費用弁償費より¥6,886充当 ※印刷製本費より¥2,485充当 ※水道光熱費より¥16,731充当 ※損害保険料より¥863充当
管理費計	7,083,751	7,284,291	△ 200,540	
経常費用計	10,840,734	10,389,557	451,177	
当期経常増減額	1,194,848	367,148	827,700	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
1 固定資産除却額	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,194,848	367,148	827,700	
一般正味財産期首残高	5,689,776	5,322,628	367,148	
一般正味財産期末残高	6,884,624	5,689,776	1,194,848	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	6,884,624	5,689,776	1,194,848	

貸 貸 対 照 表

平成 22 年 3 月 31 日
(第 30 期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金	61,083	370,096	△ 309,013
普通預金	2,958,371	1,356,333	1,602,038
振替貯金	988,357	2,491,957	△ 1,503,600
当座預金	589	889	△ 300
定期預金	3,350,000	3,350,000	0
仮 払 金	106,800	115,800	△ 9,000
流動資産合計	7,465,200	7,685,075	△ 219,875
2. 固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	204,000	204,000	0
固定資産合計	299,154	299,154	0
資 産 合 計	7,764,354	7,984,229	△ 219,875
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	786,000	959,000	△ 173,000
預り金	93,730	1,335,453	△ 1,241,723
流動負債合計	879,730	2,294,453	△ 1,414,723
負 債 合 計	879,730	2,294,453	△ 1,414,723
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	6,884,624	5,689,776	1,194,848
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	6,884,624	5,689,776	1,194,848
負債及び正味財産合計	7,764,354	7,984,229	△ 219,875

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

該当なし

(2) 固定資産の減価償却について

該当なし

(3) 引当金の計上基準について

該当なし

(4) 消費税等の会計処理方法について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

平成 22 年 3 月 31 日
(第 30 期)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現 金 現金手許有高	61,083		
普通預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	2,958,371		
振替貯金	988,357		
当座預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱東京UFJ銀行日暮里支店	3,350,000		
仮 払 金 決算総会会場費等	106,800		
流動資産合計		7,465,200	
2. 固定資産			
(1)基本財産	0		
(2)特定資産	0		
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154		
保 証 金 帝都医薬品配置協同組合	204,000		
固定資産合計		299,154	
資 産 合 計			7,764,354
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費 平成22年度分	786,000		
預り金 源泉税、全配協・日配商費預り	93,730		
流動負債合計		879,730	
負 債 合 計			879,730
正 味 財 産			6,884,624

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

平成22年 4月 28日

社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 小 川 孝 一

監 事 中 村 聰

監 事 久 住 英 雄

監 査 報 告 書

平成 22 年 4 月 28 日

社団法人 東京都医薬品配置協会
会 長 高山 友三郎 殿

社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 中 利 聡

監 事 久住 英雄

監 事 小川 孝一

私たち監事は、平成22年4月28日に、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの平成21年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

☆ 薬事功労賞受賞者芳名

東京都功労者表彰

東京都知事感謝状

東京都薬物乱用防止推進協議会会長感謝状

柚 木 繁

北 川 年 男

志 摩 忠 夫

平 澤 一 男

☆ 献血功労者

厚生労働大臣感謝状

榎 榮 昭 室 井 邦 春

団体

(社) 東京都医薬品配置協会

献血推進所長感謝状

石 倉 昌 則 北 川 年 男

佐 伯 梨 花 瀬 戸 政 信

高 見 由 紀 子 大 井 清 且

☆ 平成 21 年度 優良配置業者表彰者

東 部 支 部 大 澤 静 夫

多 摩 支 部 板 橋 国 雄

西 部 支 部 放 生 和 夫

☆ 永年勤続者賞

配置販売業者

・ 50 年 矢 郷 徳 寿
工 新 三 郎

八 倉 巻 治 安 川 晴 雄

配置従事者

・ 40 年 格 内 正 明 (株)富山堂薬品)

・ 10 年 和 田 裕 二 (株)富山堂薬品)

伊 藤 洋 一 (三山薬品(株))

村 野 栄 一 (三山薬品(株))

・ 5 年 小 林 雄 一 (三山薬品(株))

大 戸 亜 美 (三山薬品(株))

俵 洋 輔 (三山薬品(株))

細 見 大 介 (三山薬品(株))

大河内 徳 久 (三山薬品(株))

会費等納収のお願いの件

本会は昭和 55 年 4 月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分な理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。

※公益事業を円滑に遂行します上からも納入期限内（6 月末日）までには是非ご協力をお願い致します。

名 称	金 額
(1) 協会費 平成 22 年度	
配置販売業者	19,000 円
配置販売従事者（1 名につき）	17,000 円
(2) 全国配置家庭薬協会賦課金	
全国体質強化費（対外交渉費等）	
配置販売業者	500 円
配置販売従事者（1 名につき）	500 円
政治連盟費	
配置販売業者	500 円
配置販売従事者（1 名につき）	500 円
資質向上対策費	
配置販売業者	3,000 円
配置販売従事者（1 名につき）	3,000 円
(3) 日本配置家庭薬商業組合費	
配置販売業者	2,000 円
配置販売従事者（1 名につき）	1,500 円
日配商 東京支部費	
配置販売業者	1,000 円
合 計	
配置販売業者	26,000 円
配置販売従事者（1 名につき）	22,500 円

☆全配協賦課金・日配商費（東京支部費は除く）は他の道府県にて納入している場合は必要ありません。